

第2章 全体構想



1. 都市づくりの基本理念
2. 都市づくりの基本目標
3. 将来都市構造の考え方
4. 土地利用の方針
5. 各基本目標の方針

1. 都市づくりの基本理念

第1章で整理した都市づくりの方向性のうち、都市づくりの全体にかかる視点である2項目を「都市づくりの基本理念」に位置づけます。

基本理念1 成熟した持続可能な都市づくり

「都市経営」の観点から、都市の活力を生み出す取組を進めます。

「成長・拡大の都市づくり」から「成熟・持続可能な都市づくり」への転換を図り、人口減少・超高齢社会が進行する中においても、時代の変化に対応し、将来にわたって健全な暮らしが可能となるよう「都市経営」の視点を取り入れながら、活力を生み出す都市づくりに取り組みます。

そのため、様々な面で情報通信などの技術革新による新たな技術を取り入れ、財政の健全化と公共サービスのバランスを考慮しながら、大規模な感染症を踏まえたニューノーマル（新しい日常）に対応した都市づくりを進めます。

基本理念2 多様な主体による協働の都市づくり

「地域共創」の観点から、地域の価値を向上させる取組を進めます。

市民や地域団体、大学、事業者、行政などの多様な主体が自ら考え、協力しながら、一体的に取り組めるよう「地域共創」の視点を取り入れながら、地域の価値を向上させる都市づくりに取り組みます。

行政は、都市づくりに関する情報を市民などと共有するとともに、協働を促進するための環境づくりに取り組みます。

市民・地域は、都市づくりに関心を持ち、地域の魅力を自ら考え、地域主体の都市づくりに進んで参加します。

事業者・団体などは、市民や行政と連携して、積極的に都市づくりに取り組みます。